

週刊 市議会報告

日本共産党

08年10月20日 第1062号
【発行】
日本共産党浦安市議団
市役所内控え室(議会棟1階)
☎&FAX (350)1243

平和大好き
憲法9条は
世界の宝



市議会議員
元木美奈子

入船 4-37-14
☎355-8526
minamotonton@
jcom.home.ne.jp



市議会議員
井原めぐみ

東野 2-8-13
☎353-4730
i_megumi@d8.
dion.ne.jp



市議会議員
美勢 麻里

北栄 2-3-16-203
☎354-9269
m5mise@jcom.
home.ne.jp

特別支援校高等部を浦安に

「具体的な提案もしながら要望していく」市長



特別支援学級在籍児童・生徒数(08年7月1日現在)

学校名	在籍数
浦安小学校	16人
見明川小学校	11
美浜南小学校	10
高洲小学校	10
明海南小学校	12
明海小学校	3
合計	76
浦安中学校	6
見明川中学校	18
明海中学校	14
入船中学校	7
合計	45

市は「第二期基本計画」の第一次実施計画で、08年度から11年度までの4年間で小学校、中学校1校づつ、全ての小中学校に特別支援学級を設置していくこととしています。

また「浦安の高校教育等のあ

障がいを持つ子どもたちに十分な教育の機会と条件を整えることは社会と政治の責任です。

浦安市には小・中学校あわせて121名の児童、生徒が特別支援学級で学んでいます。高等部がないために、県立市川特別支援校高等部に29名、流山高等学園に2名、桜ヶ丘特別支援校高等部に1名が通学しています。3年前の05年3月議会で「浦安市に県立養護学校の分校の設置を求める意見書」(日本共産党提案)が採択されています。

高等部分室設置、通学バス充実が県の責任

「方検討事業」では08年度に検討会を設置することになっていますが、日本共産党が特別支援教育をこの検討の中にしつかり位置付けることを求めたのに対し、教育総務部長は「検討課題の一つとして検討していく」と答弁しました。

県、バス費用は市に押し付け

県立市川特別支援校への通学バスは本来は県の予算で行うべきですが、県が実施しないため、市は「県が実施するまでの間」と限定し、年間約1500万円をスクールバス費用として投入しています。

県は高等部分室を整備していく方針はあるものの、今年

度具体化したのは東葛地域のみで、浦安市が属する葛南地域の具体的な検討は全くされていないことが、日本共産党が8月に県教育委員会に対して行った調査で明らかになっています。日本共産党が浦安市内の県立高校の空き教室などに市川特別支援校高等部の分室を設置するよう、強く要望したのに対し、県教委は「葛南地域全体で整備する」との回答にとどまり、浦安市に設置される保証はありません。

分室は「広域」でなく「浦安」に

遠い船橋などに設置されて「葛南地域全体で充足したから」などと県から言われては浦安の子どもたちの不便は何も解消されません。日本共産党は市を挙げて県に強く要望することを求めました。松崎市長は今年8月8日に教育長共々県教育長に要請したとし、「本市も障がい児が増えていくというところで直接お話をしましたけれども、優先順位が低いということも空回りに終わった」としつつも、「具体的な提案もしながら、これからは要望していこうと思っています」と答弁しました。